

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

平成 26 年度 第 13 回総会

平成 26 年 6 月 7 日（土）

（審議事項）

議案 1（平成 25 年度事業報告および決算報告）

事業報告書は別紙 1－1、収支計算書及び監査報告は別紙 1－2 及び 1－3 のとおり。

議案 2（役員の変更）

役員の変更は別紙 2 のとおり。

（提案事項）

提案 1（平成 26 年度事業計画及び収支予算）

事業計画と収支予算は各々別紙 3－1 と 3－2 のとおり。

以 上

別紙 1 - 1 (平成 25 年度事業報告書)

1. まちづくり事業

1) 地区計画等のまちづくりの構想や計画の策定

(1) 武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング方策検討及び実施 (継続、:各地区担当者)

- 昨年度に続いて、主担当・地区担当を通じて実施する。
 - 吉祥寺西地区(塩澤)については、吉祥寺西コミュニティ協議会主催の街並みウォッチングの案内をいただいたが、都合があわずに参加できず「地域と連携したまちづくり事例ニュースレター」の発行には至らなかった。他は特になし。
 - 境南地区(篠原)については特段の活動は行っていない。かつての武蔵野プレイスや中央線高架、東京都道 12 号調布田無線(三鷹 3.3.6 号線)のような大きなまちづくり課題は現状では少ない。
- ウェブサイトの更新作業に合わせて、「武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング検討及び実施」事業成果をウェブサイトで公開し、市民に活用してもらう方策を検討する。
 - ウェブサイトの更新が果たせていないため、ウェブを通じた方策は実現できなかった。

2) まちの利便、景観、環境、安全等の保全や向上に資する実践活動

(2) コミュニティ支援事業 (継続、各地区担当者)

- コミュニティ要請に応じて対応する。
 - 2013 年度、吉祥寺西地区については、「吉祥寺西コミュニティ協議会主催第4回街並みウォッチング」への参加要請があったが、日程の都合から支援に至らなかった。(塩澤)

(3) 「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への副司会者の派遣等 (継続、主担当: 村井、副担当: 南、井部、塩澤、篠原)

- 事業内容: 副司会者の派遣を継続する。外環地上部街路に関する調査研究を実施し、もう一步踏み込んだ取り組みができないかを検討する。
 - 村井(副司会者)の参加状況: 第 15 回(2013 年 7 月 5 日)、第 16 回(2013 年 9 月 10 日)、第 17 回(2013 年 11 月 7 日)、第 18 回(2014 年 4 月 17 日)に出席。会の構成員である糸井氏、井部氏が他界され、それぞれ中村、原両氏に引き継がれた。会が 3 年の長期に渡り、その間行政側(国、都、市)6 名の構成員のうち最初から変わらないのは、恩田部長(武蔵野市)1 名である。開催の間隔も 2 カ月以上で市民構成員のモチベーションの維持も大変で負担が大きくなっている。前回(18 回)からやっと議論に入る段階になり、これからが重要な話し合いになると予想される。
- 状況に応じて道路計画や周辺まちづくり、地域防災との関連について勉強会の実施や助言等を行う。
 - 市民まちづくり会議としての取り組みとしては、会員への情報提供と傍聴のお誘い、進め、まとめ方についての意見交換を行った。

(4) 「三鷹駅北口地区まちづくり準備会」の推進 (継続、主担当: 高田、副担当: 塩澤)

- 事業内容: 引き続き準備会の活動を支援。
 - 準備会(塩澤): 準備会の対象エリアのうち、西久保一丁目地域内で推進している「シンボルツリー」のお願い活動を引き続き継続実施していきながら、同地域内の一部エリアを設定して、まちづくり条例に基づく地区まちづくり計画の策定に向けた検討を進めた。地区まちづくり計画案の作成を支援し、地区まちづくり協議会設置に向けた進め方について助言を行った。その結果、西久保一丁目在住有志が呼びかけ人となり、西久保一丁目町会への働きかけを行い、今後、地区内各世帯への協議会

発起人への参加を呼びかけることとなった。なお、市まちづくり推進課とも相談を行っており、計画案については概ね了解を得ている。

→ シンポジウム実行委員会(高田):昨年度に引き続き「三鷹駅北口のまちづくりを考える意見交換会」第3回(6月8日)第4回(9月29日)を実施し、ワールドカフェ方式による意見交換を行った。当初の準備会メンバーが考えていたいろいろな立場の人々の声を集めてまちづくりの方向性を探るという考え方は、準備会メンバー以外の参加者が思うように集まってこないということもあって、なかなか思い通りにはいっていないが、実行委員会主催の「意見交換会」を実施したことにより、少しずつではあるが前進している。その一つとして、一昨年まとめた「武蔵野らしさを大切にしたいまちづくりの考え方」を具体的に可視化しようと、三鷹駅北口らしさを表す場所やお店などをメンバーがプロットすることによる「マップ」づくりをはじめている。また、活動の状況を発信するために、ホームページを立ちあげた。

(5) むさしの減災まちづくり調査研究(継続、主担当:篠原、副担当:南、村井、清本、井部)

- 事業内容: 国、東京都、武蔵野市といった各レベルにおける防災・減災(地域)計画の最新の見直し状況について調査やヒアリング、適宜勉強会を実施。
→ 平成25年策定の市防災計画等を確認はしたが、内容についての検討は未実施
- 古いブロック塀の調査資料が市にあるかどうか調べて、なければ、タウン・ウォッチングの機会などに調査し資料を作る。具体的には、住宅地図をもって歩き、ブロック塀のあるところに印をつけて歩く(境南町にて予備調査を予定:清本、篠原)。
→ タウン・ウォッチングは未実施

2. まちづくりに関する調査研究事業

1) まちの現状や計画、まちづくり制度に関する情報収集及び研究

(6) 景観・観光をテーマにしたまちづくりの検討(継続、主担当:南、副担当:村井、山田、河田、篠原)

- 景観整備や観光に関する武蔵野市の取り組み状況を把握し、今後の連携方策、たとえば、武蔵野市に対する景観条例策定等に向けたタウン・ウォッチングを実施する。展開によっては、優れた景観条例等を有する他市や学識経験者、専門家、NPO等を招き、勉強会等を実施する。市長との懇談の場を設け、景観整備に向けた具体的な活動に着手する。
→ タウン・ウォッチング、勉強会等については未実施。平成26年度からの取り組み方針を検討。
→ 市が2月16日に開催した「武蔵野市景観シンポジウム～身近なまちの魅力・まちづくりと景観～」に篠原がパネリストとして参加し、まちづくり会議の紹介と景観への取り組み状況を報告。パネリストは基調講演を勤めた工学院大学建築学部まちづくり学科教授倉田直道先生及び株式会社日本カラーデザイン研究所景観事業部長・東北芸術工科大学非常勤講師の杉山朗子先生、東京農業大学准教授の水庭千鶴子先生、武蔵野市長。参加者の多くはまちづくり会議の役員・会員・関係者であり、景観への取り組みの難しさを予期させるものであった。開催後、恩田都市整備部長からも、同様の反省の言葉があった。
- 観光については、武蔵野市観光推進計画(平成19年度)の検証と武蔵野市観光推進機構の活動状況の把握、ヒアリング等を把握し、武蔵野市における今後の観光まちづくりの方向性を検討する。
→ 具体的な活動なし。

(7) 商業地活性化部会・UD部会合同(継続、主担当:河田、副担当:山田)

- ハコ物を拒否せず、必要なものは建てる。
従来、商業部会の活動として、環境浄化を前提にイースト吉祥寺の活性化をテーマに調査、提言を行ってきた。イースト吉祥寺では中心を貫く市道298号線沿いに高層マンション完成、新商業ビル建設計画(よろず湯東側)等 少しずつ景観を変えながら、様相に変化が見られる。今後は暫定駐輪場に新しいタイプのコミセンの建設(保育所、高齢者医療系施設にコミセン機能を併せ持つ複合施設)の調

査、研究、提言を行いたい。

- 真の安心、安全の街づくりを目指す。

吉祥寺を中心に暴力団事務所への発砲事件、殺人事件などの凶悪事件、東京以西でも武蔵野市は犯罪発生率が高いという事態を踏まえて、犯罪予防、対策の研究、提言を行いたい

→十分な調査研究はできなかった。

2) まちづくりへの市民参画に関する情報収集及び研究

(8)まちづくり支援活動の実施 (継続、主担当：塩澤、副担当：地区担当者)

- 事業内容：コミュニティ協議会等とは、各地区担当を中心に連携の深化を行う。協力要請があった場合には、まちづくり会議として対応。
- 武蔵野市都市マスタープラン改定に伴う地区別意見交換会運営等委託(武蔵野市委託事業)に基づく武蔵野市都市マスタープラン改定に対する提案書平成22年5月に示した、地区別意見交換会の成果と提案書の取り扱いの考え方の1つである「①地区別意見交換会の成果における「まちづくりの課題」に関して、その解決に向けた市民の主体的なまちづくり活動が行われる際には、責任を持って積極的に支援していく」に基づき、市民の主体的なまちづくり活動を支援していく。

→ 2013年度、吉祥寺西地区については、「吉祥寺西コミュニティ協議会主催第4回街並みウォッチング」への参加要請があったが、日程の都合から支援に至らなかった。(塩澤)

3. まちづくりに関する教育事業

1) まちづくりに関する講習会、シンポジウム等の開催

- 今年度は特段予定しない。

2) まちづくりに関する講師派遣

(9)まちづくり出前講座の実施 (継続、主担当：各担当役員、管理：内門)

- コミュニティの要請に対応し、専門家を派遣する。
→ 今年度の要請はなかった。

3) まちづくりに関する研修

(10)まちづくり探訪(継続、主担当：南、副担当：その他役員)

- 武蔵野市近隣・近郊のまちづくり事例の研修プログラムを導入。「景観」をテーマとしたウォッチングを実施。
→ 4月26日に谷中・根津・千駄木(谷根千)の探訪会を実施。

4. まちづくりに関する普及啓発事業

1) 機関紙、研究報告書、啓発書の発行

(11)機関誌「まち」の継続発行(継続、編集長：高田、編集員：各役員、担当、管理：事務局長)

- 事業内容：ウェブ更新後にメルマガとして再編する。
→ ウェブ自体の体制づくりが遅れた。

(12)報告書の発行(継続、各担当者)

- 事業内容：各事業の推進状況や結果については、ウェブ更新後に、担当者を通じて、当会のウェブにて公表する。
→ ウェブ自体の体制づくりが遅れた。

2) ホームページの開設・運営

(13)ホームページの抜本的更新等(継続、主担当者：篠原、副担当者：山田、石川、塩澤、管理：事務局長)

- 事業内容：ウェブを抜本的に更新し、従来蓄積された成果や情報などのコンテンツを広く市民やコミュニティと共有する。
→ 今年度は、ホームページを作成する事業者につき複数の候補を得たことと、ホームページに掲載すべきコンテンツを検討するにあたり、まずは①塩澤全理事が作成してくれた過去のまちづくり会議の実績表の更新(別添)及び、②ニュースや都市計画マスタープラン改定・まちづくり条例策定時の資料、過去に開催したシンポジウムやパネルディスカッションの記録、タウン・ウォッチングの記録や写真、バス研修の記録や写真、吉祥寺イーストやその他のアウトプット等の所在を確認、ファイルを整理するにとどまった。

5. まちづくり又はその研究や普及啓発を目的とする団体との情報交換及びネットワークの構築事業

(14)武蔵野市長、市議、まちづくり担当部門とのネットワークづくり（新規、主担当：篠原、副担当：清本、中島）

- 事業内容：市長、市議、まちづくり担当部門(まちづくり推進課等)との随時・定期的意見交換会や懇談会を設け、課題把握や調整、ネットワークづくりを行う。
→ 今年度は市長との個別懇談会は設けることができなかったが、景観シンポジウムにて市長等と今後の景観施策につき懇談し、引き続きまちづくり会議としても景観への取り組みを続けることを申し出ている。また、都市整備部やまちづくり推進課とは、景観シンポジウムの打ち合わせや財政白書のためのインタビューを実施した。その後、篠原自身は出席できなかったが、武蔵境の3.4.27号線について、恩田都市整備部長他と会員の中島会員との熟議をセットでき、意義ある議論ができたこと、中島会員から連絡を受けている。

(15)武蔵野NPO・市民活動ネットワークへの参画（継続、主担当：篠原、副担当：内門）

- 事業内容：団体登録は状況をみて原則として継続。
→ 団体登録は継続した。

(16)くらしフェスタむさしの2013への参加（継続、主担当：清本、篠原、副担当：内門）

- 事業内容：くらしフェスタ2013への参加。
→ 「市民にとって魅力ある商店街・店舗とは？」とのテーマで、アンケートの実施、吉祥寺と境地区で商工会館、商店会、商店などの取材を行って、パネルにまとめ、展示に参加した。

(17)男女共同参画のまちづくりの検討（継続、主担当：篠原、副担当：内門）

- 事業内容：登録は継続。連携機械を検討。
→ 従来通り継続。

(18)「武蔵野の森を育てる会」企画会議等への参加（継続、主担当：村井、副担当：南）

- 事業内容：境山野緑地で活動する「武蔵野の森を育てる会」の要請を受け、今後の森の育成や更新、活動等について引き続き情報提供等を行う。また、クリーンセンターとの連携による緑化事業の実現に向けて働きかけを行う。
→ 25年度「独歩の森の会」には参加できなかった。新クリーンセンターの緑化についてはまだ検討に入っていない。(村井)
- 今年度は、境山野緑地の一部伐採更新を行う計画があり、その計画についても注視するとともに必要に応じて情報提供や提案を行う。
→ 境山野緑地の活動への協力、一部伐採更新の確認等は、行えなかった。

6. その他目的を達成するために必要な事業・新たに取り組んだ事業

(19)「まちづくり会議・むさしの」のウェブの活用（新規、主担当：篠原、副担当：内門、各役員）

- 事業内容：ウェブの抜本的更新のために、期待するウェブ機能につき、議論し、更新にむけた仕様を決める。更新完了後は、役員を中心に講習を実施し、各自が自由に使い、情報発信できるようにする。

→ 上記「(13)ホームページの抜本的更新等」に記載の通り。

(20)「まちづくり会議・むさしの」の定例会の実施（継続、主担当:篠原 副担当:内門、各役員）

- 事業内容: 予め定例会の日程を7月、9月、11月、1月、3月の第2金曜日とする(年5回)。今年度から定例会の記録作成を役員が持ち回りで実施し、ウェブサイトにて会員むけに報告できるようにする。

→ 定例会はほぼ予定通り実施。また定例会の記録を作成して会員に配布した。

平成 25 年	7 月 12 日	定例会	商工会館(記録:篠原)
	9 月 13 日	定例会	商工会館(記録:南)
	11 月 22 日	定例会	商工会館(記録:村井)
平成 26 年	1 月 22 日	定例会	商工会館(記録:高田)
	3 月 14 日	中止	

(21)財政研究会に参加し、財政白書の発刊を支援（継続、主担当:篠原 副担当:清本 管理:内門）

- 事業内容: 財政研究会に参加し、財政白書の発刊を支援する。今年度は、都市開発公社や土地開発公社など、まちづくり関連の外郭団体の財政状況分析を担当(トーマツ資料をベースとしてヒアリングを実施)。印刷費の一部を支援予定だが、同等分の財政白書を受領する予定。

→ 今年度は市の財政援助出資団体をフォーカスし、「むさしの市民財政白書2」の報告書を中途まで篠原がとりまとめた上、川名市議及び白書づくり関係者の皆様に作業の引き継ぎをお願いし、別添の目次のように報告書を作成いただいた。印刷ができ次第配布に入る。篠原は、武蔵野市開発公社及び土地開発公社の一部(ヒアリング及び記録作成)を担当(主担当は横山氏)。都市整備部長から市が行っている吉祥寺等のまちづくりや土地利用、道路整備、公社のあり方や今後について、ざっくばらんに見解を聞いたことは大きな成果であったと考える。

(22)自転車安全研究 GW への協力(篠原、清本、井部、中島)

→ 武蔵野大学人間科学部人間科学科生理人類学教室 橋本修左教授からの要請にて、武蔵野市の自転車安全研究 GW の被験者募集に協力することを合意(同教授との打ち合わせ)。今後、自転車については、必要に応じて、意見・情報交換を行うこととした。その後、調査が実施され、同教授から経過報告の送付があった。

以上

別紙 1 - 2 (平成 25 年度収支計算書)

平成 25 年度収支計算書

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31

日

単位:円

	収入	支出
会費・入会金		
入会金	1,000	
会費	54,000	
事業		
(1)まちづくり事業		
外環の地上部街路話し合い	68,000	
タウンウォッチング		310
(2)教育事業		
景観シンポジウム	21,000	
(3)普及啓発事業		
ホームページの運用		12,455
成蹊大学NPO活動講演	10,000	
(4)交流事業		
NPO市民ネットワークへの参加		2,000
その他収入		
寄付	2,330	
利息	128	
事務管理費		
消耗品		17,958
通信費		800
合計	156,458	33,523

収支差額	122,935
期首繰入(前期残高)	706,267
期末繰越(当期末残高)	829,202

別紙 1 - 3 (会計監査報告)

「特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの」の平成25年度の会計処理について、会計原則に基づいて精査しましたところ、全てが適正に処理されていることを確認しました。

平成26年 4月23日

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

監事 勝倉 啓仁



監事 清本 和子



別紙 2 (役員の変更)

役員任期満了に伴い、平成 26 年 7 月 1 日付けで、次のように役員・執行役員の変更を行う(任期:平成 26 年 7 月 1 日から 2 年間)。

法人役員

旧		新	
役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	篠原 二三夫	理事長	篠原 二三夫
理事	南 賢二	理事	南 賢二
			(理事長代行)
理事	高田 典夫	理事	高田 典夫
理事	山田 朗	理事	山田 朗
監事	勝倉 啓仁	監事	勝倉 啓仁
監事	清本 和子	監事	清本 和子

執行役員

旧		新	
役職	氏名	役職	氏名
代表	篠原 二三夫	代表	篠原 二三夫
副代表	南 賢二	副代表	南 賢二
			(代表代行)
同	河田 弘昭	副代表	河田 弘昭
同	高田 典夫	同	高田 典夫
同	村井 寿夫	同	村井 寿夫
同	山田 朗	同	山田 朗
事務局長	内門 秋弘	事務局長	内門 秋弘
監事	勝倉 啓仁	監事	勝倉 啓仁
同	清本 和子	同	清本 和子

※篠原二三夫の健康が回復するまで、南賢二を理事長代行、代表代行とする。

別紙 3 - 1 (平成 26 年度事業計画)

1. まちづくり事業

1) 地区計画等のまちづくりの構想や計画の策定

(1) 武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング方策検討及び実施 (継続、各地区担当者)

- 事業内容：昨年度に続いて、主担当・地区担当を通じて実施する。
- ウェブサイトの更新作業に合わせて、「武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング方策検討及び実施」事業成果をウェブサイトで公開し、市民に活用してもらう方策を検討する。

2) まちの利便、景観、環境、安全等の保全や向上に資する実践活動

(2) コミュニティ支援事業 (継続、各地区担当者)

- 事業内容：コミュニティ要請に応じて対応する (後述(8)参照)。

(3) 「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への副司会者の派遣等 (継続、主担当：村井、副担当：南、原、塩澤、篠原)

- 事業内容：準備会も含め副司会者の派遣を継続する。司会者の意向もあり、本年度が最終年度となる可能性がある。話し合いの会の状況について会員に十分な情報提供を行う。
- 状況に応じて道路計画や周辺まちづくり、地域防災との関連について勉強会の実施や助言等を行う。

(4) 「三鷹駅北口地区まちづくり準備会」の推進 (継続、主担当：高田、副担当：塩澤)

- 事業内容：引き続き準備会の活動を支援。

(5) むさしの減災まちづくり調査研究 (継続、主担当：篠原、副担当：南、村井、清本)

- 事業内容：平成 25 年度に策定された「武蔵野市地域防災計画」に関する、まちづくり視点からの内容検討(勉強会)と、必要に応じた市へのヒアリング調査等の実施。
- 武蔵境の境南小を中心とする防災懇談会に関わることを考えたい。

2. まちづくりに関する調査研究事業

1) まちの現状や計画、まちづくり制度に関する情報収集及び研究

(6) 景観・観光をテーマにしたまちづくりの検討(継続、主担当：南、副担当：村井、山田、河田、篠原)

- 事業内容：武蔵野市の景観整備や景観ガイドライン策定の取り組み状況を把握し、状況に応じて市長との懇談の場を設け、景観整備に向けた具体的な活動に着手する。
- 景観整備に関する会としての知見を向上させるため、勉強会を実施する。必要に応じてまちづくり探訪において景観整備の先行自治体の訪問やヒアリングを実施する。

(7) 商業地活性化部会・UD 部会合同 (継続、主担当：河田、副担当：山田)

- 事業内容：吉祥寺商業地域の考察

吉祥寺イースト地区を中心に研究・提言をすすめてきたが、駅舎改修工事も完了して駅南北通路開通、続いて京王電鉄による駅ビルKIRARINAがオープンした。このように駅中心に商業の活性化が期待されるが、他方映画館として長い間営業を続けてきたバウスシアターが閉店するなど大きな変化の過程にある。イースト地区では南口バス通りと共にキャバクラ等の客引きが目立ち、通行の妨げとなり環境上も好ましくない。

以下のテーマで市、市民に提言できるよう、現場視察しながら諸々研究を深めていく。

- ① 迷惑条例の見直し、客引き防止条例の制定の検討
- ② 外国人来街者、居住者の増加に関する街のあり方の検討

③ 商業地域の負担感の強い固定資産税その他税一般及び長期視点に立った市財政の研究

2) まちづくりへの市民参画に関する情報収集及び研究

(8)まちづくり支援活動の実施（継続、主担当：塩澤、副担当：地区担当者）

- 事業内容：コミュニティ協議会等とは、各地区担当を中心に連携の深化を行う。協力要請があった場合には、まちづくり会議として対応する。
- 武蔵野市都市マスタープラン改定に伴う地区別意見交換会運営等委託（武蔵野市委託事業）に基づく武蔵野市都市マスタープラン改定に対する提案書平成22年5月に示した、地区別意見交換会の成果と提案書の取り扱いの考え方の1つである「①地区別意見交換会の成果における「まちづくりの課題」に関して、その解決に向けた市民の主体的なまちづくり活動が行われる際には、責任を持って積極的に支援していく」に基づき、市民の主体的なまちづくり活動を支援していく。

3. まちづくりに関する教育事業

1) まちづくりに関する講習会、シンポジウム等の開催

- 事業内容：今年度は特段予定しない。

2) まちづくりに関する講師派遣

(9)まちづくり出前講座の実施（継続、主担当：各担当役員、管理：内門）

- 事業内容：コミュニティの要請に対応し、専門家を派遣する。

3) まちづくりに関する研修

(10)まちづくり探訪（継続、主担当：南、副担当：その他役員）

- 事業内容：武蔵野市近隣・近郊のまちづくり事例の研修プログラムを継続実施する。都内の区市において景観整備に継続的に取り組んでいる自治体や地元組織へのヒアリング調査等を実施する。

4. まちづくりに関する普及啓発事業

1) 機関紙、研究報告書、啓発書の発行

(11)機関誌「まち」の継続発行（継続、編集長：高田、編集員：各役員、担当、管理：事務局長）

- 事業内容：ウェブ更新後にメルマガとして再編する。

(12)報告書の発行（継続、各担当者）

- 事業内容：各事業の推進状況や結果については、ウェブ更新後に、担当者を通じて、当会のウェブにて公表する。

2) ホームページの開設・運営

(13)ホームページの抜本的更新等（継続、主担当者：篠原、副担当者：山田、石川、塩澤、管理：事務局長）

- 事業内容：まずは、コンテンツ作成につき、原案を作成し、役員と調整しつつ、HPとブログの作成自体も可能な範囲で自作を試み（すでに簡単なものなら作成できる）、その上で、必要に応じて業者への発注を考慮することとしたい。目標としては年内にプロトタイプを試作し、部分運用を開始し、来年度から正式に稼働にこぎつけたい。

5. まちづくり又はその研究や普及啓発を目的とする団体との情報交換及びネットワークの構築事業

(14)武蔵野市長、市議、まちづくり担当部門とのネットワークづくり（新規、主担当：篠原、副担当：清本、中島）

- 事業内容：引き続き、市長、市議、まちづくり担当部門（まちづくり推進課等）との随時・定期的意見交換会や懇談会を設け、課題把握や調整、ネットワークづくりを行う。

(15)武蔵野NPO・市民活動ネットワークへの参画（継続、主担当：篠原、副担当：内門）

- 事業内容：団体登録は状況を見て原則として継続。

(16)くらしフェスタむさしの2014への参加（継続、主担当：清本、篠原、副担当：内門）

- 事業内容： 暮らしフェスタむさし 2014 への参加。

(17)男女共同参画のまちづくりの検討（継続、主担当：篠原、副担当：内門）

- 事業内容： 登録は継続。連携機会を検討。

(18)「武蔵野の森を育てる会」企画会議等への参加（継続、主担当：村井、副担当：南）

- 事業内容： 境山野緑地で活動する「武蔵野の森を育てる会」の要請を受け、今後の森の育成や更新、活動等について引き続き情報提供等を行う。また、クリーンセンターとの連携による緑化事業の実現に向けて、より具体的な実施方策を検討し、市(事業者)に提案する。
- 境山野緑地の一部伐採更新計画について、市の動向を確認し、必要に応じて情報提供や提案を行う。

6. その他目的を達成するために必要な事業・新たに取り組む事業

(19)「まちづくり会議・むさしの」の定例会の実施（継続、主担当：篠原、副担当：内門、各役員）

- 事業内容： 予め定例会の日程を7月、9月、11月、1月、3月の第2金曜日とする(年5回)。引き続き定例会記録を役員持ち回りで作成し会員に通知する。

(20)財政研究会に参加し、財政白書の発刊を支援（新規、主担当：篠原、副担当：清本、管理：内門）

- 事業内容： 白書づくりに関わる方々の今後の目標に沿って、参加を検討していくこととしたい。

以上

別紙 3 - 2 (平成 26 年度予算)

収入									
	昨年度繰越					¥829,202			
	1会費・入会金収入								
	入会金収入					¥0	入会0名と想定		
	会費収入					¥54,000	昨年度末の人員数を想定		
	2事業収入					¥0	予定なし		
	1まちづくり事業								
	2まちづくりに関する調査研究事業								
	3まちづくりに関する教育事業								
	4まちづくりに関する普及啓発事業								
	5まちづくり又はその研究や普及啓発を目的とする団体との情報交換及びネットワークの構築事業								
	6その他目的を達成するために必要な事業・新たに取り組んだ事業								
	3補助金等収入					¥0	予定なし		
	4寄付金収入					¥80,000	外環+その他		
	収入合計					¥963,202			
支出									
	1事業費								
	1まちづくり事業								
	都市マス推進状況モニタリング方策検討実施					¥5,000	謝礼、資料、交通費、コピー等		
	コミュニティ支援事業					¥20,000	2件の支援を想定		
	三鷹駅北口地区まちづくり準備会					¥10,000	シンポジウム等対応		
	むさしの減災まちづくり調査研究					¥5,000	謝礼、資料、交通費、コピー等		
	2まちづくりに関する調査研究事業								
	景観・観光研究					¥40,000	訪問先謝礼等		
	商業活性化部会・UD部会					¥5,000	資料、交通費、コピー等		
	3まちづくりに関する教育事業								
	まちなみ探訪					¥20,000	訪問先謝礼等		
	企画経費					¥5,000	情報集、資料収集等		
	4まちづくりに関する普及啓発事業								
	ホームページの更新・維持管理・抜本更新					¥250,000	再作成費用を含む		
	5まちづくりに関連する団体との交流事業								
	フェスタ準備、NPOネット会員費用等					¥10,000	年会費及び交通費、文具、材料費等		
	6その他事業								
	財政研究会					¥5,000	白書買取費		
	2管理費								
	事務局運営費					¥30,000	事務局経費		
	3予備費					¥5,000			
	支出合計					¥410,000			
	収支差額(次期繰越)					¥553,202			

参考：平成26年度会員名簿

1	代表	篠原 二三夫	理事長
2	副代表 代表代行	南 賢二	理事 理事長代行
3	副代表	河田 弘昭	
4	〃	高田 典夫	理事
5	〃	村井 寿夫	
6	〃	山田 朗	理事
7	監事	勝倉 啓仁	監事
8	〃	清本 和子	監事
9	事務局長	内門 秋弘	
10	会員	塩澤 誠一郎	
11	〃	中川 瑛子	
12	〃	西村 まり	
13	〃	原 利子	
14	〃	高田 昭彦	
15	〃	田辺 軌夫	
16	〃	石川 知穂	
17	〃	深田 貴美子	
18	〃	川名 ゆうじ	
19	〃	内山 さと子	
20	〃	中島 敏	
21	〃	東 貴雄	
22	〃	手塚 一郎	
23	〃	きくち 太郎	
24	〃	中村 郁博	
25	〃	竹山 悠紀子	
26	〃	山本 ひとみ	
27	〃	松下 玲子	

